

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 4 安全でおいしい食の里をつくる

担当課名	環境産業部 農林水産課		
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	05	農林水産業費
	項	01	農業費
目	目	03	農業振興費

事業名	<b>担い手経営基盤強化事業</b>	事業開始年度	平成 21 年度
	担い手経営基盤強化事業	根拠法令 条例 個別計画等	新規就農総合支援事業実施要綱 廿日市市農業振興補助金交付要綱 第5次総合計画（農産物の品質向上）

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	認定農業者、農業生産法人、新規就農者	新規就農者の経営・生産技術の指導（担い手支援事業）により、地域農業の担い手となる農業者を育成する。また、人・農地プランの策定支援及びプラン達成のための各種事業（青年就農給付金、農地集積協力金）を実施する。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
農協 担い手協議会 市	—	補助金支払事務（審査、現地確認） 補助金申請事務

### 3 平成 25 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手支援事業補助金 1,000 千円 市、農業委員会、JA、県が構成員である廿日市地域担い手育成総合支援協議会において、経営力の高い農業者を育成するため、若い農業者に対して、経営・生産技術の指導事業を行い、次世代の本市農業の担い手を育成する。</li> <li>・集落法人経営基盤強化事業補助金 4,000 千円 吉和地域の担い手である農事組合法人よしわが取り組む、売れる米づくりや地産地消（学校給食米）の推進を促し、農業経営の安定に向けて支援する。</li> <li>・新規就農総合支援事業（青年就農給付金） 15,000 千円 新規就農者の就農直後の経営の不安定な時期に所得を確保するための給付金を交付することにより、就農後の確実な定着と早期経営安定を図る。</li> <li>・農地集積協力金 2,400 千円 人・農地プランに位置づけられた地域の中心となる担い手に対し、農地集積に協力する農地所有者を支援する。</li> </ul>							
	【歳入】							
	県支出金 農業振興基金繰入金 4,000 千円 新規就農総合支援事業補助金 15,000 千円 農地集積加速化支援事業補助金 2,400 千円							
	【歳出】							
	担い手支援事業補助金 1,000 千円 集落法人経営基盤強化事業補助金 4,000 千円 新規就農総合支援事業（青年就農給付金） 15,000 千円（10名） 農地集積協力金 2,400 千円							
	コスト情報（円）	<b>項目</b>	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	平成 25 年度予算	備考		
		財源内訳	<b>直接事業費 A</b>	541,705	21,250,000	22,400,000		
			国庫支出金					
			県支出金		18,500,000	17,400,000		
			借入金（市債）		1,000,000	4,000,000		
その他(使用料など)								
市（市税など）		541,705	1,750,000	1,000,000				
<b>人件費(按分) B</b>	0.10 人 884,900	0.10 人 885,700	0.10 人 875,200					
<b>総事業費(A+B)</b>	1,426,605	22,135,700	23,275,200					
ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,353 人	118,353 人	118,000 人				
	② 市民1人当たり	12	187	197				
到達目標	<b>活動及び成果指標</b>		単位	H 23 実績値	H 24 目標値	H 25 目標値	H 27 目標値	備考
	活動	ハウス設置面積	a	14	46	60	60	
		新規就農者	人	3	3	2	2	
	成果	軟弱野菜(ほうれんそう等)販売量	t	91	106	128	174	
		認定農業者数	戸	22	25	27	31	